



# 令和7年度ICTアドバイザー 実務者会議 支援部会活動報告

令和7年12月12日(金)



# 議事內容

1. 現場見学会WG活動報告
2. 支援部會活動報告



## 1.現場見学会WG活動報告

日時：令和7年8月6日(水)13:30～15:30

場所：岐阜県高山市丹生川町新張地内

令和6年度中部縦貫西部地区道路建設工事

(発注者：高山国道事務所受注者：(株)新井組)

参加人数 30名 +  $\alpha$  (日立建機)



# R7現場見学会の計画

現場見学会WG | 株式会社 新井組|稻越 崇

## R7現場見学会WGの目標について

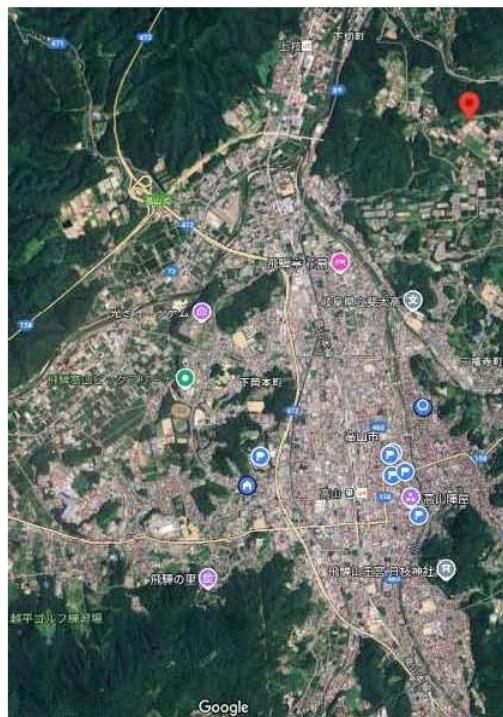
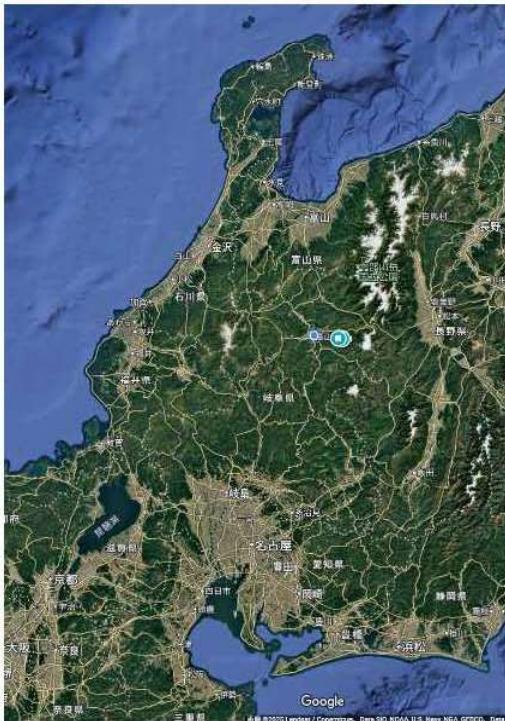
- 現場見学会の開催(年度内に最低1回)
- WEBセミナーWGとの協力と展開
- 遠隔臨場(ASPer)およびライブ等によるweb配信

※CPDS(3ユニット程度)を申請

## R7現場見学会の開催候補地について

- 岐阜県高山市の(株)新井組が、R7.3月に高山国道事務所から受注した「令和6年度 中部縦貫西部地区道路建設工事」内で、ICT土工が発注者指定で含まれており、新井組が自社で有するMCバックホウならびにMCブルを用いて施工する予定である。
- ICT施工はR7.6月～8月中旬を予定している。※2025.04.21現在
- 支援部会の永瀬幹事長が属する(株)飛州コンサルタントも高山市にある。
- レーザードローンによる3次元起工測量等を飛州コンサルタントで計画。
- (株)新井組では過去に直轄工事現場で10回以上見学会を開催。

## R7開催の場所について



【住所】  
〒506-2124  
岐阜県高山市丹生川町新張3255-80付近

【所要時間】  
東海北陸・高山ICより、車で10分程度  
高山国道事務所 より、車で15分程度

【通信環境について】  
ドコモ4G、ソフトバンク、支障なし

【駐車場】  
場内に20台程度駐車可能。※舗装なし



## R7見学会の概要

1. レーザーUAVによる3次元起工測量を体験(計画作成と飛行実演)
2. 3次元設計データ作成を体験
3. MCバックホウ1台およびMCブル2台の試乗体験
4. 「i-Construction 2.0」に向けた取り組みを体験
  - ① 現場内にWi-Fiエリアを構築(日立Solution Linkage Wi-Fi)
  - ② オペレータが建設機械に搭乗せずに遠隔で操作する遠隔施工

※①②は日立建機より提供予定



## R7見学会でのチームリソース

- 対応人員(説明者)

1. 3次元起工測量および3次元設計データ作成 →飛州コンサルタントより3名程度
2. MC重機3台の試乗体験 →新井組より3名+日立建機より1名
3. MC遠隔施工の試乗体験 →日立建機より2名
4. Web配信(撮影) →日立建機より2名

- 現地の機材

1. レーザードローン＆ノートPC+モニター →飛州コンサルタント
2. MC重機3台(バックホウ1・ブル2) →新井組

## WEBセミナーWGとの協力と展開

- 現地見学会を下記のいずれかの方法でweb配信する。
  1. 電納ASPer内の「ASPer LIVE」で生配信する。**(最大で50人程度の参加が限界)**
  2. 日立建機のYouTubeチャンネルで生配信する。**(参加人数の限度なし)**
    - A) YouTubeチャンネルの場合は録画データとして、後日閲覧が可能。
    - B) 費用等については別途日立建機と協議が必要。
- 配信データをCPDSインターネット学習(オンデマンド)にも登録する。
  1. 上記で日立建機のYouTubeチャンネルで生配信した場合に限り可能となる。
  2. 配信およびCPDS認定の手続は日立建機がすべて行い、**配信権限は日立建機が所有。**
  3. CPDSユニット用URLを設け、CPDSの取得も希望する者は日立建機へ直接申し込む。
  4. 最大で3ユニット程度の取得が可能。配信に対する対価(CPDSインターネット学習の参加費)は日立建機が独自で設定して募集する。

## R7見学会スケジュール

No.	内容	R7.04	R7.05	R7.06	R7.07	R7.08	R7.09
1	見学会の概要説明と方針決定						
2	WEBセミナーWGとの調整						
3	開催日の決定、関係機関への案内						
4	CPDSの申請と募集						
5	機材の準備						
6	見学会の実施						
7	CPDSインターネット学習						8/15以降→3/末まで
8	YouTubeチャンネル配信						8/15以降→永久



## 2.ICT現場見学会内容確認

当日の流れの確認

必要なものの確認

熱中症対策、写真用の横断幕は必要？

ICTアドバイザーで参加される方はいますか？

飛騨地方で遠いですが…

UAVレーザー + 今話題のハンディスラムの体験にしたい



# R7現地見学会 企画書

日時：令和7年8月6日(水)13:30～15:30

場所：岐阜県高山市丹生川町新張地内

令和6年度中部縦貫西部地区道路建設工事

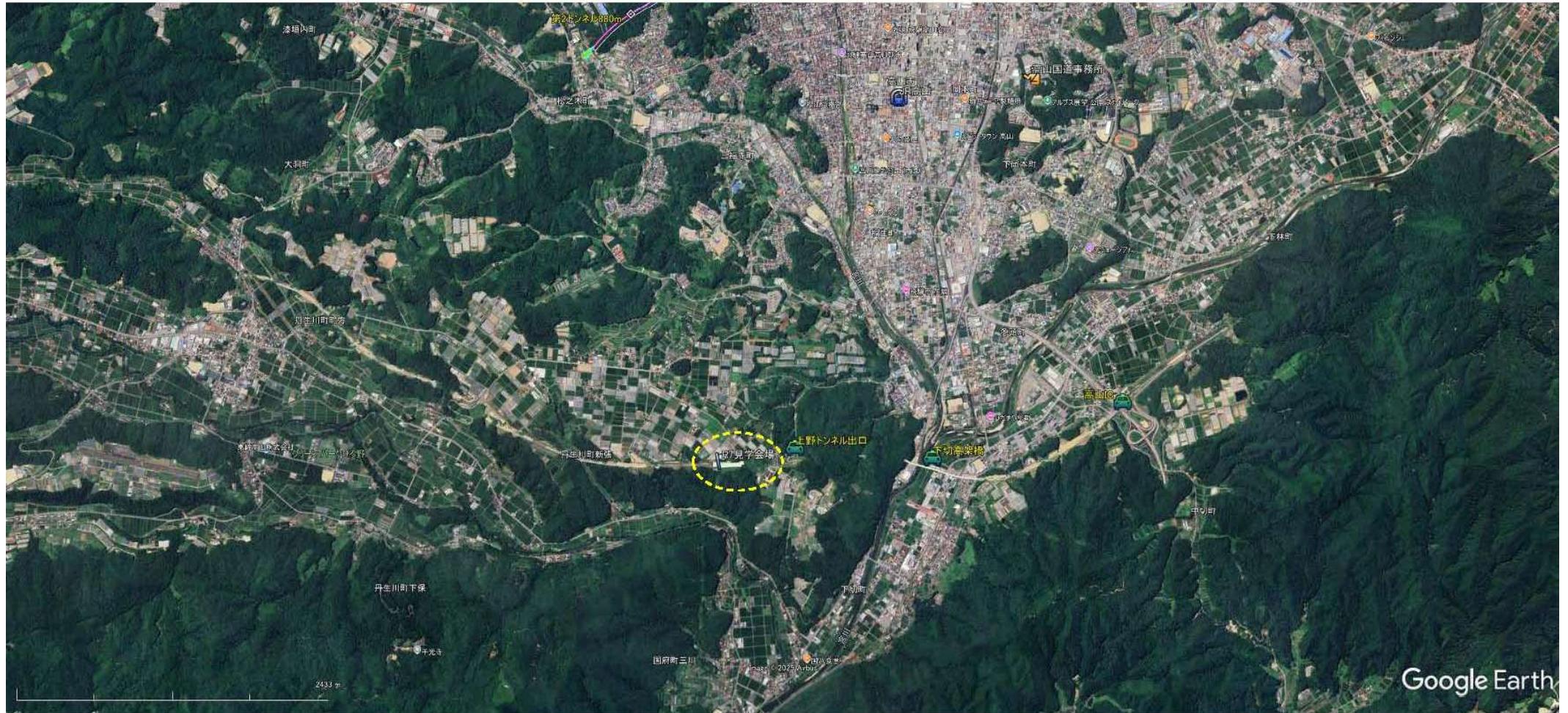
(発注者：高山国道事務所 受注者：(株)新井組)

2025年07月22日

作成者：支援部会 R7現場見学会WG

株式会社 新井組 稲越

## R7見学会場の位置関係(岐阜県高山市)

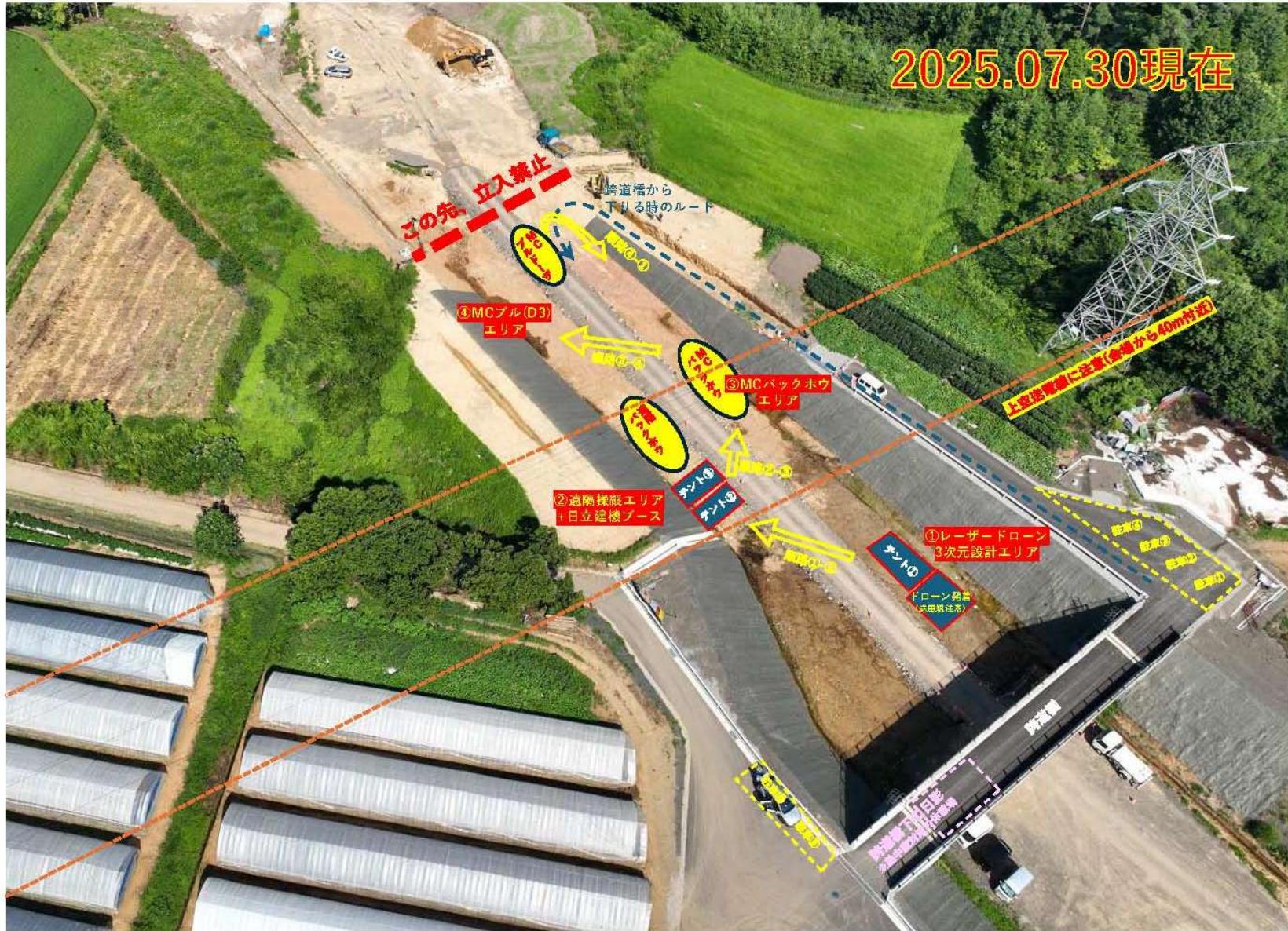


## R7見学会場への進入経路(予定)



## R7見学会場の駐車場所





## R7見学会の資機材計画

No.	場所	①ドローン エリア	②遠隔操作 エリア	③MC B H エリア	④MC D3 エリア		通路	計	担当
1	テント(2.0×3.0間)	1	2					3	日立建機
2	長机 1800×600	2	2					4	日立建機
3	発電機	1	1					2	日立建機
4	カラーコーン	7					23	30	日立建機
5	リングコーンバー2m	6					9	15	日立建機
6	メガホン(説明者用)	1	1	1	1			4	日立建機
7	誘導棒(交通整理用)						5	5	日立建機
8	ペットボトルお茶500ml						120	120	日立建機
9	日立建機カタログ一式						100	100	日立建機
10	日立建機ブース内の装飾		1					1	日立建機
11	遠隔バックホー式		1					1	日立建機
12	MCバックホウ			1				1	新井組
13	MCブル(D 3)				1			1	新井組
14									新井組
15	レーザードローン一式	1						1	飛州コンサル
16	パソコン(3次元設計等)	1						1	飛州コンサル
17	モニター(3次元設計等)	1						1	飛州コンサル
18	クーラーボックス(大)		2						新井組(稻越)
19	ブルーシート10*10		1						新井組(稻越)
20									

※参加者を最大100名で設定しています

## R7見学会のタイムスケジュール

タイムスケジュール案

No.	作業内容	月日	08/06									
		時間	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	
1	MC重機の配置(BH・D3)			新井								
2	遠隔重機・Wifiの配置とwifiテスト				日立							
3	テントおよびコーンの設営(3基)				日立							
4	レーザードローン準備					飛州					全作業終了	
5	3次元設計ブース準備					飛州						
6	遠隔テスト・日立ブース準備			日立								
7	交通整理(5名)12:50~13:20						日立				予定	
8	Web配信の実施 13:20~15:00							新井(稻越)				
9	各ブース、テント・コーン撤収								全員			
10	遠隔重機・Wifiの撤収								日立			

# ブース内容と担当



- ①レーザードローン & 3次元設計エリア (グループ①先導は日立1)
  - ・レーザードローンの飛行計画説明→参加者によるドローン操作体験(飛州コンサル)
  - ・トレンドポイントによる点群データと、設計データの説明(福井コン・宇野)
- ②遠隔操縦エリア + 日立建機ブース (グループ②先導は日立2)
  - ・日立デモMCバックホウを用いて、遠隔操作の説明と参加者の操作体験(日立・2名)
  - ・日立ソリューションシステムの説明(日立・1名) ※操作体験の合間に
- ③MCバックホウエリア (グループ③先導は日立3)
  - ・MCバックホウの説明と体験(新井組・オペ1) ※ただし完成している状況なので設計データより10cm程度オフセット
- ④MCブル(D3・8t)エリア (グループ④先導は日立4)
  - ・MCブルD 3 の説明と体験(新井組・オペ2) ※ただし完成している状況なので設計データより10cm程度オフセット

## 【スタッフ集計】

飛州コンサル	2名
福井コン	1名
新井組	3名+稻越・四反田
日立建機	8名(内・先導5名)
計	16名



## ○ICT活用工事のメリットを感じてもらう事で最初の一歩を踏み出すきっかけにしてもらう見学会を！！

- ・ 見学会の開催場所は、高山市丹生川町という場所で高山国道事務所発注のICT対象工事である中部縦貫自動車道関連の土工工事の現場を会場としました。実際の工事現場で行う事でよりリアルな体験会を目指しました。
- ・ 見学会の実施内容については、最新のドローン計測、ハンディスラム体験や日立建機日本様のご協力のもとに、中部地方で初お披露目の遠隔操作バックホウのブースを設けて未来の工事を実際に体験してもらいました。
- ・ ICT施工の普及には、施工者だけでなく発注者の理解も必要と考え、建設会社だけでなく自治体職員も対象にしました。



現地参加者  
施工業者：26名  
国・自治体職員：7名

オンライン受講  
国・自治体職員：7名



- 中部地方整備局では、中部地方におけるi-Construction の更なる推進へむけ、これまで培った技術およびノウハウを還元し裾野の拡大をはかりつつ、建設現場における自発的な活動を支援し、建設産業の生産性向上を図ることを目的として、受発注者及び開発者等の関係者が一体となり、技術普及・現場支援・技術研究を行う「中部i-Construction研究会」を設立し、ICT施工・i-Constructionの普及に取り組んでいるところです。
- 更なる普及・拡大を図るため、現場でICT建設機械の操作体験等も可能な「ICT施工 体験学習会」を企画し、岐阜県高山市で開催しました。
- 国・地方自治体の職員、建設企業の社員を対象とし、現地には33名の方に参加いただきました。

## 概 要

- 日 時:令和7年8月6日(水) 13:30~15:30
- 開催場所:岐阜県高山市丹生川町新張地内
- 主 催 者:中部地方整備局(中部i-Construction研究会)
- 参 加 者:合計 40名
  - (会場受講 :施工業者等26名・国・自治体職員 7名)
  - オンライン受講 :国・自治体職員 7名)

### 【受講生の声】

遠隔操作は難しそうという先入観があったが、操作方法が分かりやすく、身近に感じられる工夫が随所に感じられた。

機械の特性、特徴を身をもって体験できることは非常にプラスになった。

### 【体験学習会カリキュラム】

講義内容	講師	時間
1. 開会挨拶	中部地方整備局／中部i-Construction研究会	13:30~13:35
2. 工事概要説明	高山国道事務所	13:35~13:40
3. 技術概要説明	(株)新井組	13:40~13:45
4. 体験 <ul style="list-style-type: none"> <li>・レーザーUAVによる3次元起工測量</li> <li>・3次元設計データ作成</li> <li>・MCバックホウ・MCブルドーザー</li> <li>・建設機械の遠隔操作体験</li> </ul>	中部i-Construction研究会 福井コンピュータ(株) (株)飛州コンサルタント (株)新井組 日立建機(株)	13:45~15:15
5. 意見交換会		15:15~15:25
6. 閉会挨拶	中部地方整備局／中部i-Construction研究会	15:25~15:30

### 【体験の様子】



【建設機械の遠隔操作体験】

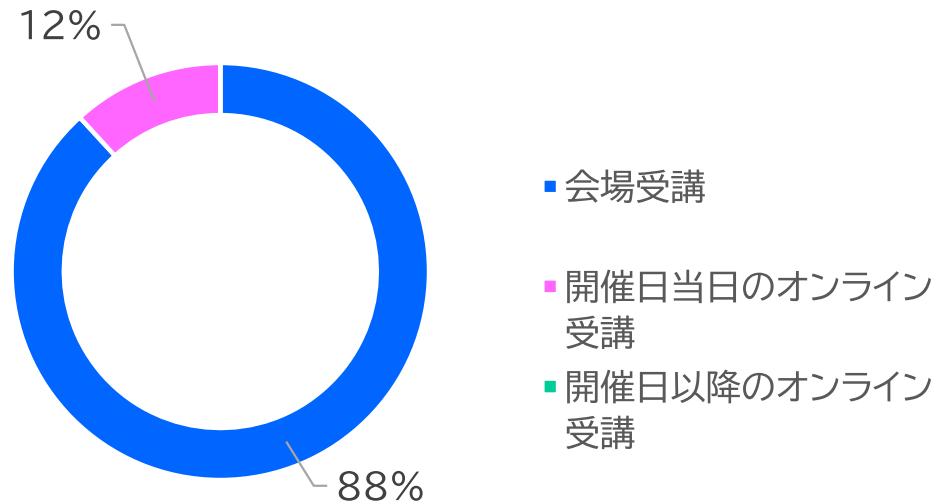


【MCブルドーザー操作体験】

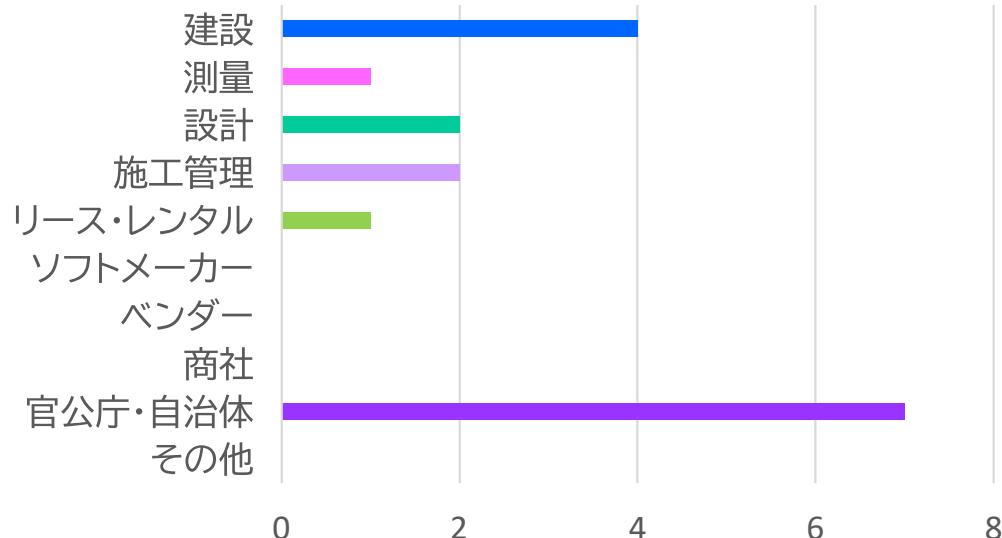
# アンケート結果①

中部i-Con研究会

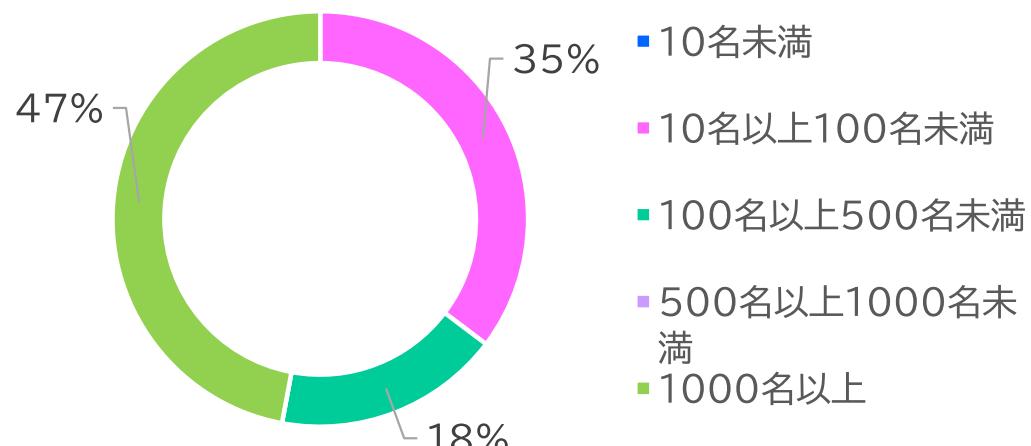
1.受講方法を教えてください。



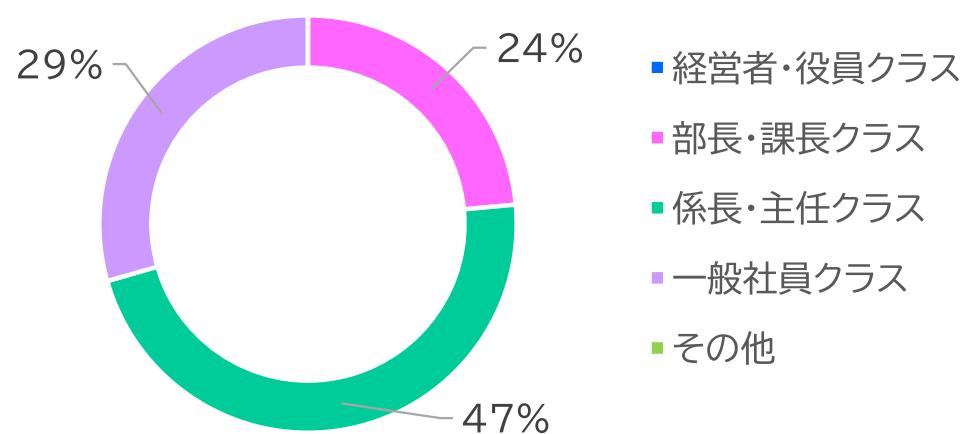
2.業務区分を選択してください。



3.所属する会社の従業員数の規模を選択してください。



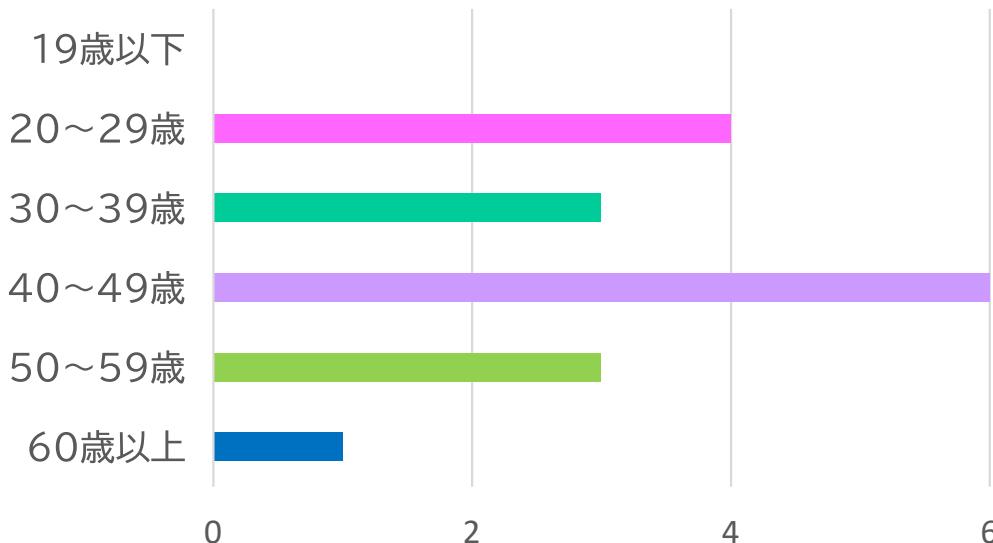
4.現在の役職に最も近いものを選択してください。



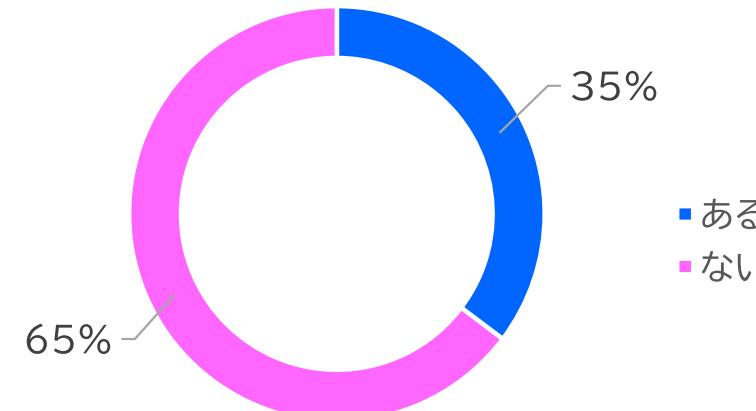
# アンケート結果②

中部i-Con研究会

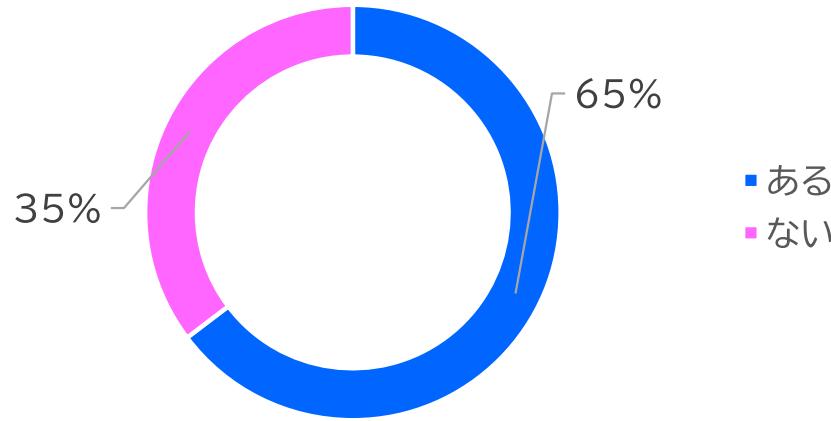
5.年齢を選択してください。



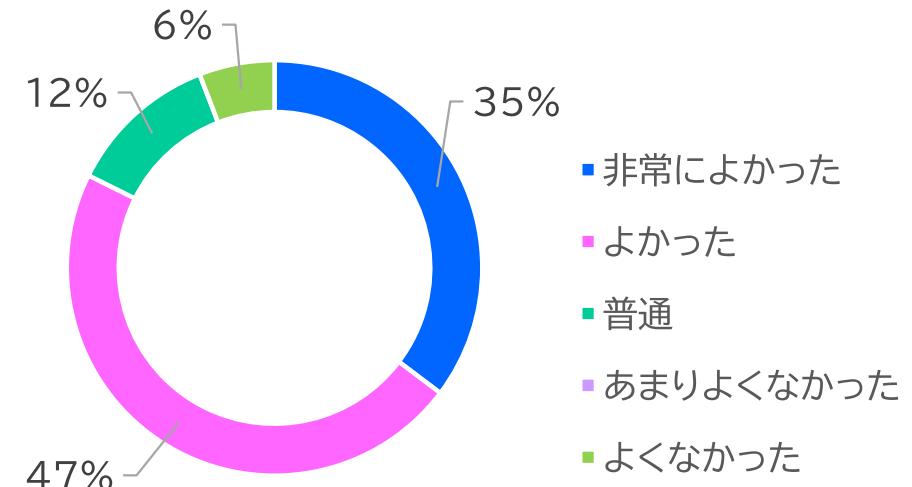
6.これまで技術者個人としてICT活用工事を実施した実績がありますか。



7.これまで会社としてICT活用工事を実施した実績がありますか。

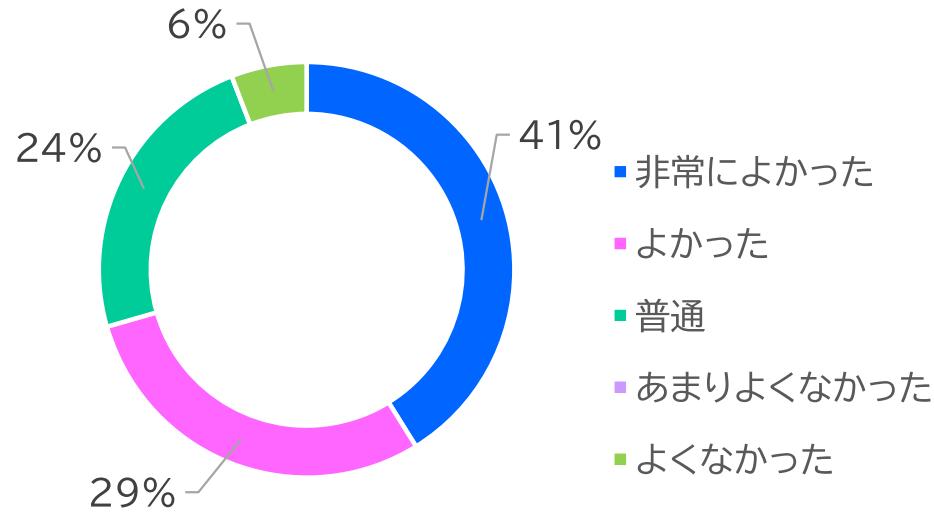


8.今回、「ICT施工 体験学習会in岐阜県高山市」を受講し、全体を通した感想を教えてください。

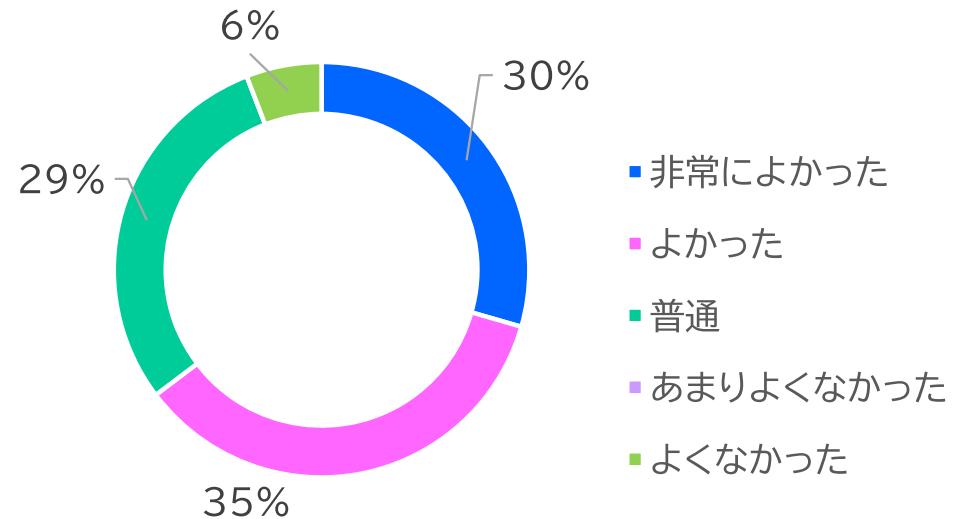


# アンケート結果③

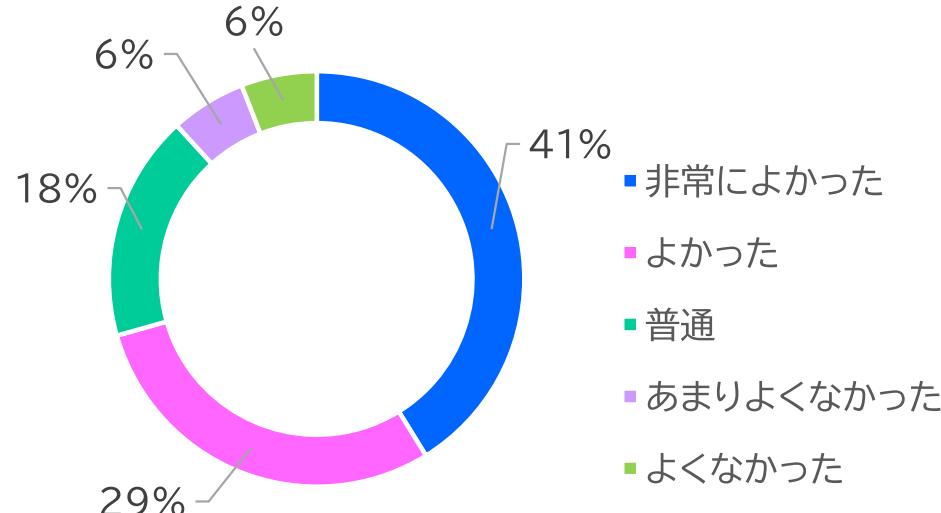
9.「レーザーUAVによる3次元起工測量」について  
感想を教えてください。



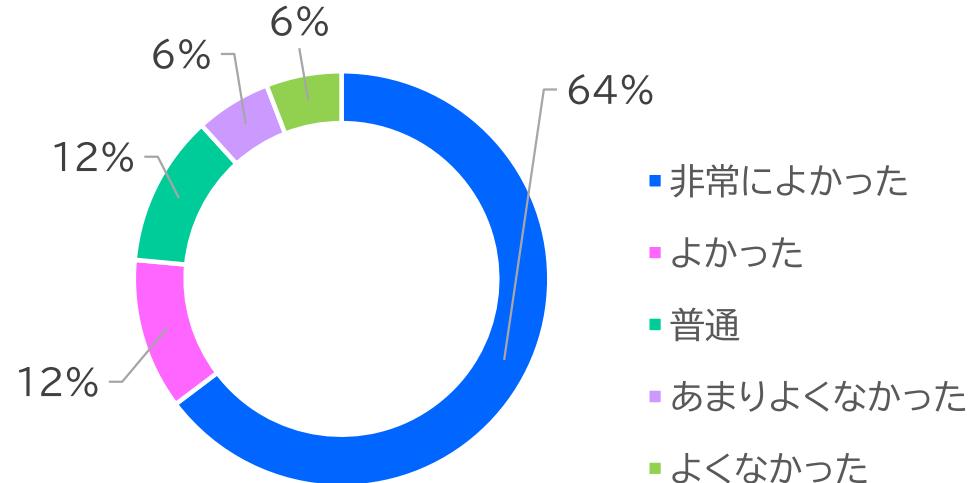
10.「3次元設計データ作成」について  
感想を教えてください。



11.「MCバックホウ・MCブルドーザー試乗体験」に  
ついて感想を教えてください。



12.「建設機械の遠隔操作体験」について  
感想を教えてください。



# アンケート結果④

中部i-Con研究会

14. 今回「ICT施工 体験学習会 in 岐阜県高山市」を受講した感想・ご意見をご記入ください。

・短時間で新技術を確認し体験も出来る良い企画だった

- ・遠隔操作は難しそうだと思っていたが、想像以上に簡単に扱えた
- ・遠隔操作は操作方法が分かりやすく、身近に感じられる工夫がみられた
- ・ICT施工技術がより多くの現場で活用される可能性を強く感じた
- ・MC・MD重機の特徴やメリットを聞くことができて、とても勉強になった

・試乗体験あたりから受信できなくなった

- ・実際に操作体験させてもらえたことがよかった
- ・測量会社が実際の現場で、機械の特性、特徴を体験できることは非常にプラスになった

- ・もう少し実習形式で学びたい

- ・仕事で間接的に係る業者と面識がもてた

- ・技術が進化しており、いつか誰も人がいないけど工事をしているようになるのではないかと思った

- ・途中からWEBの中継がつながらなくなり参加できなくなった、画像が鮮明ではなく見えにくかった

- ・ハード、ソフトともに格段の進歩を感じて驚いた

- ・ICT施工の機械の扱いや得意・不得意がわかって大変よかった

・今後、設計検討や施工計画作成に具体的なイメージを持って取り組めると思う

- ・ICT施工によって丁張を使わず法掘削ができることに驚いた



緑色:オンライン受講に関するご意見

15. 中部i-Construction研究会の今後の活動について、要望等をご記入ください。

- ・施工 体験学習会の他会場開催

- ・都市部における実施事例や活用の有効性の紹介

- ・ICT活用工事の設計積算方法や変更設計の反映の考え方の講習会

- ・レベルに応じた、初心者・ICT施工経験者・3DCAD利用者などの講習会

- ・3次元設計データ作成の講習会（2次元データから3次元設計データの作成 詳細度の説明など）

- ・回線を強化したWEB講習会











2025年8月6日ICT現場見学会in高山市





## 感想

ICT現場見学会を無事開催できてよかったです。

しかし、岐阜県高山市での開催であった為、ほとんどの役割を高山のアドバイザーである新井組さんと飛州コンサルタント、福井コンピュータ、日立建機でやってしまったので遠方のアドバイザーは疎外感があったかもしれないと反省している。

静岡市役所の方など遠方からも参加していただけたのはありがたかった。高山市、飛騨市の職員の方も参加が無かったので来年は発注者側への広報を早めにして参加を促すのが良いかなと思った。





## 2.支援部会活動報告

幹事の昭和設計藤田さんから報告していました  
だきます。





# 支援部会の 活動について

中部i-Con研究会





## 1. 令和7年 支援部会の活動内容（キックオフ会議）

- i-Constructionに関する施工計画書の記載例やノウハウなど、建設現場での活用に際しての技術的な支援および情報提供に取り組む。



- 《ICT活用業務ガイドブック（案）》（2023.5.1新規）
  - [ICT活用業務ガイドブック（案）](#)
- 《ICT活用工事ガイドブック（案）》（2022.5.19更新）

ICT活用工事ガイドブック（案）は令和4年度版であり、最新版ではございません。  
参考資料としてお取り扱いください。  
最新版は今後更新予定です。

- 改訂のポイント
- 表紙（はじめに）
- 目次

### 【導入編】

- [参考となる基準・要領一覧](#)
- [実施のながれ](#)
- [施工計画書の記載例](#)
  - [施工全般（土工編）](#)
  - [空中写真測量（無人航空機）による起工測量・出来形管理（土工編）](#)
  - [地上レーザースキャナーによる起工測量・出来形管理（土工編）](#)
- [FAQ](#)
- [ノウハウ集](#)
- [施工計画書orgデータ](#)

施工計画書の記載例の改訂





## 2. 令和6年の活動を通じての反省及び課題等

- ・「施工計画書の記載例」更新は引き続き行い、今後は部会のみならず、全アドバイザーに対してアンケート形式で広く意見を求める。
- ・今回の「HP改良」は、あくまで第一次。今後も継続して順次更新されたい。

### 3. 令和7年の活動

- ・「施工計画書の記載例」の募集。





## 4. 「施工計画書の記載例」の募集

- 共有システムのWorkingFolderへ提出を依頼し、全員で共有した。

The screenshot shows a 'Working Folder' interface with a dark header bar. The header includes the 'FUJIFILM' logo, a search bar, and user icons. The left sidebar is a navigation tree for '04\_中部i-Con研究会' under '04\_一般財団法人 国土技術研究センター'. The main content area displays a list of 12 uploaded files in a table format. The columns are '名前' (Name), '作成者' (Creator), '更新日時' (Last Updated), and 'サイズ' (Size). The files are PDF documents, mostly titled '施工計画書' (Construction Plan). The last file listed is '令和7年度 主要地方道桑名大安線(桑部橋)道路改良(旧橋撤去)工事 (ICT土工...)' (FY2025 Major地方道 Sanmei-Daini Line (Kanbe Bridge) Road Improvement (Old Bridge Removal) Project (ICT Earthwork...)).

名前	作成者	更新日時	サイズ
20251015_八重田拓也_川中島建設【横田】ICT施工計画書.pdf	2025/10/26 13:41	2.7 MB	
20251015_増田健二_中日建設_施工計画書データ.XDW	2025/10/26 13:42	594.6 KB	
20251023_内田翔_内田建設_ICT施工計画書_福田中島工区.docx	2025/10/26 13:41	9 MB	
20251023_内田翔_内田建設_ICT施工計画書_見付工区.docx	2025/10/26 13:41	10.4 MB	
20251023_澤口拳也_日進_新居斎場進入道路_UAV施工計画書.pdf	2025/10/26 13:42	2.6 MB	
20251104_山下瑞喜_朝日土木_TLSSLAM施工計画書(土工)揖斐川.pdf	2025/11/04 14:29	4.5 MB	
20251128_北村崇_前田製作所_3DMG油圧ショベル施工計画書(案).pdf	2025/11/28 20:00	1.5 MB	
20251128_城山直樹_前田製作所_MCグレーデ施工計画書(案).pdf	2025/11/28 20:00	1.1 MB	
2025_河村産業所_平野照幸_施工計画書(河川浚渫).pdf	2025/12/01 7:52	7.4 MB	
令和06年道路改良工事(交付金)ICT指定・週休2日・遠隔臨場) (ICT舗装工(愛...)	2025/10/17 18:57	3.1 MB	
令和3年度 名阪国道越川地区防災工事 (ICTのり面工).pdf	2025/10/17 18:55	23.3 MB	
令和7年度 主要地方道桑名大安線(桑部橋)道路改良(旧橋撤去)工事 (ICT土工...	2025/10/17 18:59	6.5 MB	

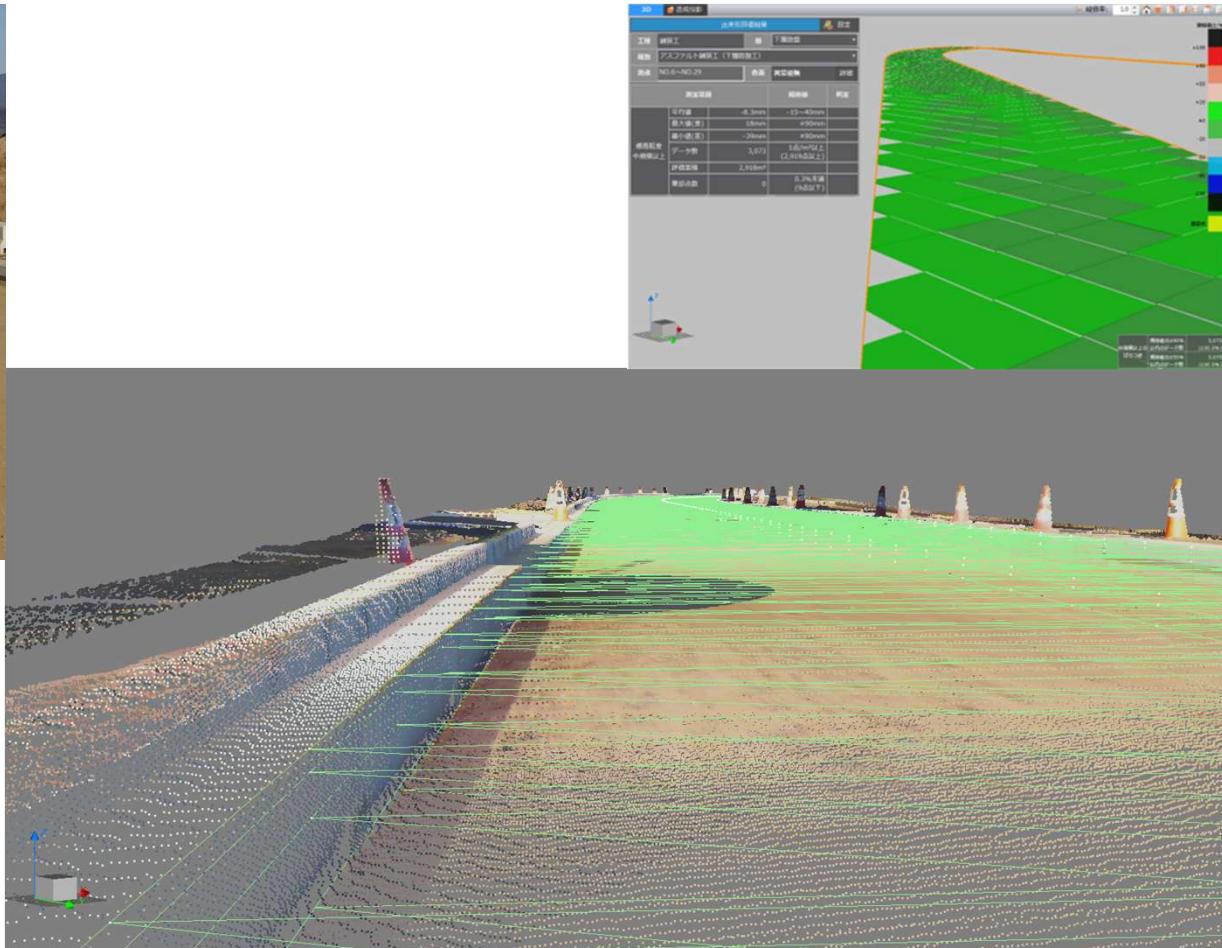
- 提供を受けた工事の内訳。
- 土工8件：舗装工2件：河川浚渫工1件：法面工1件：計12件。
- 難易度の高い現場や新たなICTで施工管理を実施しているケースあり。





## 5. 令和8年への引き継ぎ\_施工計画書の記載例

- ICT施工がまだ取り組めていない自治体や民間企業にICT施工の支援を図るために、令和8年は今まで収集した施工計画書から舗装工や河川浚渫工などの記載例を充実していく必要がある。（ICT施工の幅広い利活用）





## 5. 令和8年への引き継ぎ\_HPの更新

今後の対応優先順位（案）（取りかかり易いものから）

- ✓ リンク切れ等エラー解消
- ✓ トップページの編集（背景画像の募集から）
- ✓ コンテンツの再構成（先ずは移動のみ中身は後）

R6着手

中部 i-Con研究会総合サイト内の更新

- ✓ 基準類・要領類の更新
- ✓ ICTアドバイザーについて

R7着手

コンテンツ別アクセス件数分析（ニーズ確認）から

- ✓ ニューコンテンツの作成（将来計画／専用WG等）
- ✓ 活動内容紹介（SNS活用も視野に）
- ✓ SNSや動画を活用した技術紹介／モデル現場照会

未着手

未着手については、予算化次第、順次変更していく予定。



ホームページの更新を実現する。





## 最後に…

この一年、皆様のお力添えにより、若輩者の私でも幹事長という大役を無事に務めることができました。

至らぬ点も多々あったかと思いますが、各場面で皆様にご協力いただいたことで、支援部会としての活動を着実に前へ進めることができました。

私一人では到底成し得なかった一年であり、深く感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。





*i-Construction*

